



日本共産党 北区議会議員

のの山けん 区政レポート

http://ken-nonoyama.com/ mail@ken-nonoyama.com

No.548 2020.2.12

日本共産党北区議員団

〒114-8508 王子本町1-15-22

ご相談は
お気軽に **090-2156-3510**

命脅かす低空飛行



国会からの報告をおこなう山添拓参議院議員

羽田新ルート緊急学習会 杉江 航空評論家 山添 参議院議員 が講演

.....
都心を低空飛行する羽田新ルートの試験飛行が始まり、住民の不安や怒りが広がっています。10日、赤羽北区民センターで「羽田新ルート緊急学習会」が開かれました。(のの山けん)
.....

平日夜にもかかわらず、会場にはあふれるほどの参加者が詰めかけました。

主催の「北区を低空飛行する羽田新ルートの撤回を要求する住民の会」浅野代表からのあいさつの後、航空評

論家・元JALパイロットの杉江弘氏が約1時間にわたって講演(大要は裏面)、新ル

トの問題点を具体的に明らかにしました。続いて、日本共産党の山添拓参議院議員が国会からの報告。航空機の欠落部品(落下物)が2年間で1180個にも及ぶことが紹介されると、会場から驚きの声があがりました。

最後に、羽田問題解決プロジェクトの大村究代表が新ルート撤回をめざす住民のとりくみを報告しました。

世界の空の常識を覆し、住民の命を脅かす低空飛行は、撤回させるしかありません。

新ルートは撤回を

池内さおり前衆院議員が街頭で訴え

11日、ララガーデンで池内さおり前衆院議員とともに街頭宣伝。羽田新ルートについて池内氏は、道行く人に「試験飛行で頭上をかすめる飛行機に誰もがびっくりしています。住民の命を脅かす新ルートは、みんなで声をあげ、本格運行までに必ず撤回させましょう」とよびかけました。(のの山けん)



ララガーデンで訴える池内さおり前衆院議員

低空飛行が危険な理由

これだけの理由



講演する航空評論家・元JALパイロットの杉江弘氏

羽田新ルート緊急学習会・杉江弘氏の講演(大要)

2月2日から試験飛行が始まったが、初日にはすでに落下物があり、大井町では騒音が80デシベルを超えた。世界で初となる3・5度の降下角度でエアカナダ機が羽田に降りられず成田に着陸、デルタ航空も管制官の指示を受け入れないという事態が発生した。

早くも明らかになっている。落下物、騒音、事故の危険

ここ北区でも、落下物の危険は避けられない。

政府が描く「バラ色」の計画とはほど遠い、新ルートの問題点が、

国交省は、「対策は万全」というが、やっていることは航空会社に事前の整備計画を提出させるだけ。実際には、安全にかかわるトラブルは年間1000件以上起き、そのうちパイロットや整備士がかかわるヒューマンエラーは413件と増加している。

特に整備士は劣悪な労働環境における、そのことがミスにつながっている。例えば、着陸して次の離陸までに行う機

内整備の時間は平均で35分ほど。ベルト直しも機長が手伝ったりする。整備士もこの時間内では全部見られず、ブレーキとタイヤの点検だけで飛び立つことも。

騒音も、国がいう80デシベルに収まるはずがない。着陸時には、スピードブレーキで速度を調整するが、そのときの振動で騒音は避けられないからだ。

ランディングなどの事故が起きやすくなる。私は以前に、地上300メートル地点で4つの条件をクリアしていなければ管制官が着陸の許可を下ろさないといい「スタビライズド・アプローチ」を取り入れるべきと提案し、日本ではこれがルールとして確立されてきた。降下角度は4つの条件の中で、いちばん大事なものだ。今回の新ルートで国交省は、運行規則に違反することを黙認するつもりなのか。

80デシベルに収まるはずがない。着陸時には、スピードブレーキで速度を調整するが、そのときの振動で騒音は避けられないからだ。

逆で、優れた機長をそろえ、安全に妥協しない会社だ。その会社が、3・5度では降りられないといったのだ。

3・5度の強要は、機長や管制官にもものすごいプレッシャーになる。

元凶は米軍の「横田空域」

世界の空の常識を覆す3・5度強要の原因は、横田基地だ。新ルートが「横田空域」にかかるからと、米軍から低高度での飛行ルートを拒否されたからだ。

都心で事故が起きれば、甚大な2次被害の恐れもある。こんなルート変更は、絶対に許してはならない。

恐ろしい降下角度3・5度

着陸の際の降下角度3・5度は、世界初の導入となる。飛行機の操縦というのは0・1度単位で難しくなり、角度が急になれば、しりもち

やバウンド、ハード

実は、今回の試験飛行で羽田への着陸を拒否したデルタ航空は、運転が下手だから降りられなかったのではない。その

実は、今回の試験飛行で羽田への着陸を拒否したデルタ航空は、運転が下手だから降りられなかったのではない。その